

《 後期高齢者医療特別会計 》

1 歳入・歳出決算

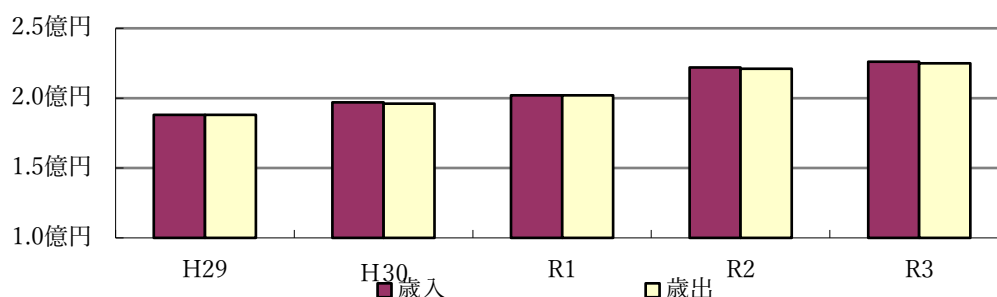
平成 20 年 4 月に、高齢化が進むに伴い今後老人医療費が増大することが見込まれることから、国民皆保険制度を堅持し、将来にわたり医療保険制度を持続可能なものとしていくため、国民健康保険や被用者保険から独立した医療制度である後期高齢者医療制度が創設されました。

令和 3 年度決算額は前年度と比べ、歳入・歳出ともに 2.0%増加しています。

(単位：円)

区分	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R2-R3 増減
歳入	188,491,702	196,588,534	202,372,096	221,767,079	226,132,073	2.0%
歳出	187,572,672	195,969,604	201,581,066	221,040,849	225,410,243	2.0%
差引額	919,030	618,930	791,030	726,230	721,830	△0.6%

後期高齢者医療特別会計歳入・歳出年次推移



2 被保険者数の推移

被保険者は制度の運営主体である広域連合の区域内に住所を有する 75 歳以上の者及び 65 歳から 74 歳の一定の障がいのある者等が対象になります。本町の年度末の被保険者数は前年度から 56 人増加し 2,734 人です。

被保険者数の推移 (年度末)

(単位：人、%)

区分	H29	H30	R1	R2	R3
75 歳以上	2,585	2,614	2,652	2,659	2,718
65～74 歳	19	18	21	19	16
計	2,604	2,632	2,673	2,678	2,734
増減数	△22	28	41	5	56
増減率	△1.0	1.1	1.6	0.2	2.1

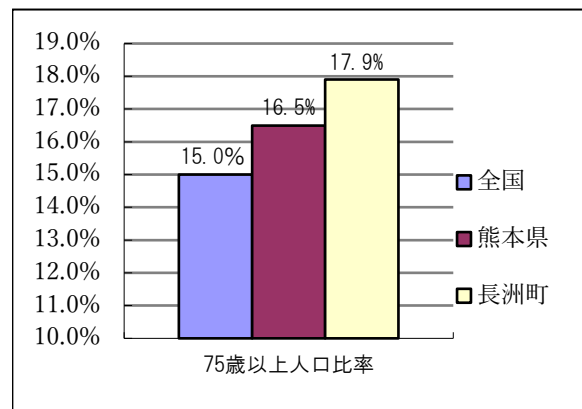
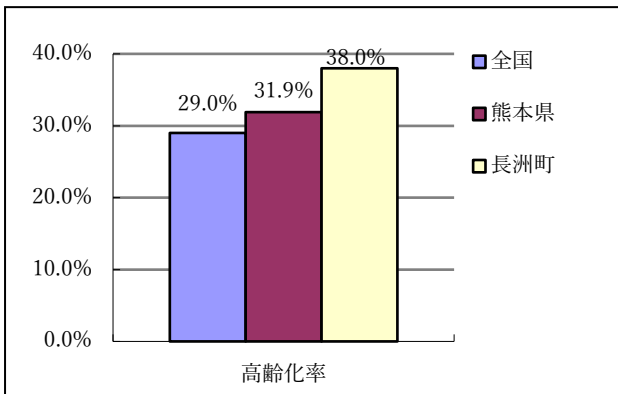
熊本県後期高齢者医療広域連合被保険者数データ

※上記の被保険者数データは当町から翌月に送付している住民異動データを取り込んで算定しているため、死亡・転入・転出等の増減分が反映する事で町の人口統計データとの相違が生じます。

令和4年1月の熊本県の高齢化率は31.9%で、全国で21位、75歳以上人口の比率についても16.5%の全国で21位と全国平均を上回って高い水準にあります。

本町の高齢化率は38.0%で45市町村中28位、75歳以上人口の比率は17.9%の32位となっています。

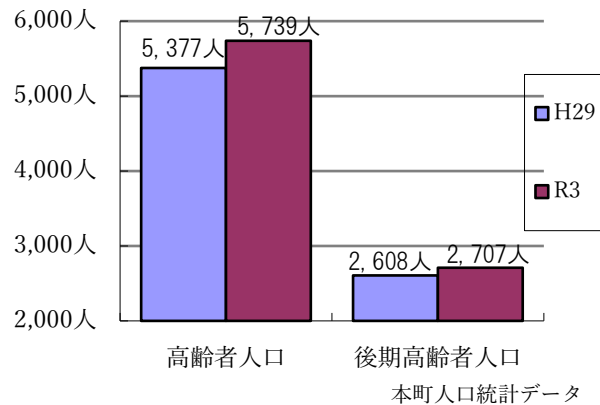
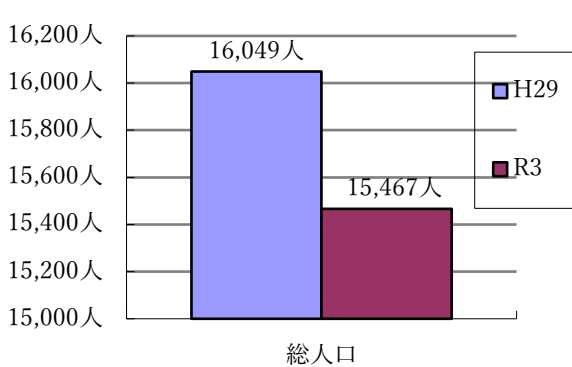
・熊本県・本町の高齢化率（65歳以上）・75歳以上人口比率



総務省資料住民基本台帳年齢階級別人口（令和4年1月1日時点）

本町の総人口は令和3年度末時点で15,467人、その中で65歳以上の人口(高齢者人口)は5,739人、うち75歳以上の人口(後期高齢者人口)は2,707人です。これは、5年前の平成29年度に比べ、総人口が582人の減少、高齢者人口で362人の増加、75歳以上の人口で99人の増加となっており、伸び率で見ると総人口が3.6%の減であるのに対して、高齢者人口は6.7%の増、後期高齢者人口についても3.8%の増となっています。

本町の総人口・高齢者人口・後期高齢者人口の推移



本町人口統計データ

3 歳入

歳入内訳については、保険料及び法定負担による一般会計繰入金が主な歳入となっており、歳入の 99.7%を占めています。

この制度では、医療費総額から窓口で支払う一部負担金を引いた額の約 1 割を被保険者の方からの保険料で賄います。

(単位：千円)

区分	H29	H30	R1	R2	R3	R3 割合
保険料	113,992	116,113	125,030	139,544	144,363	63.9%
繰入金	73,916	79,466	76,644	81,299	80,937	35.8%
繰越金	270	919	619	791	726	0.3%
国庫支出金	—	—	—	—	—	0.0%
その他	314	91	79	133	106	0.0%
計	188,492	196,589	202,372	221,767	226,132	100.0%

(1) 保険料の推移

後期高齢者医療の保険料は、広域連合ごとに決定されるため熊本県内で原則均一となり、2年ごとに見直しされます。令和2・3年度の保険料においては見直しがされております。

区分	均等割	所得割	区分	均等割	所得割
H26・27年度	47,900円	9.26%	H28・29年度	47,900円	9.26%
H30・R1年度	47,900円	9.26%	R2・R3年度	50,600円	9.95%

■後期高齢者保険料（収納額）

(単位：千円)

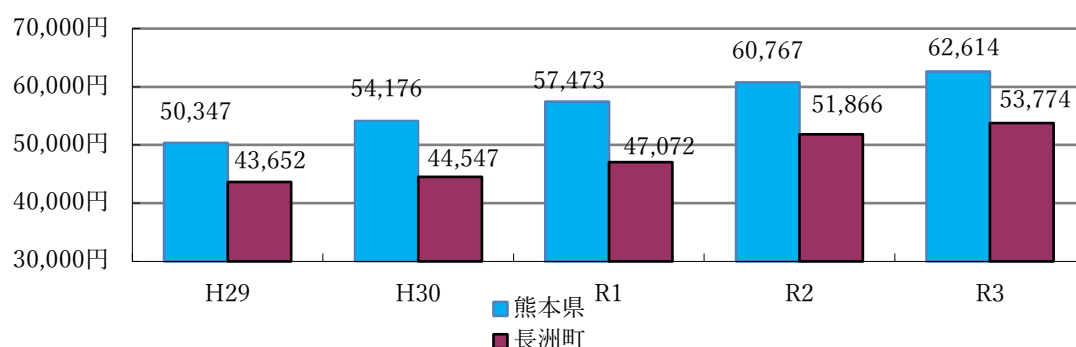
区分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
特別徴収保険料	84,339	85,601	90,344	101,308	103,119
普通徴収保険料	29,549	30,466	34,445	37,693	40,801
滞納繰越分保険料	104	46	241	543	443
計	113,992	116,113	125,030	139,544	144,363

■一人あたりの保険料（調定額÷年間平均被保者数）

(単位：円)

区分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
長洲町	43,652	44,547	47,200	51,866	53,774
熊本県	50,347	54,176	57,473	60,767	62,614
比較	△6,695	△9,629	△10,273	△8,901	△8,840

一人あたり保険料の推移



(2) 保険料収納率の推移

現年度の収納率、また滞納繰越分を計算に加えた場合、前年度と比較して 0.2%減の 99.5%となっています。

(単位：%)

区 分	H29	H30	R1	R2	R3
特別徴収保険料	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
普通徴収保険料	99.7	98.5	98.8	99.1	98.2
現年度 計	99.9	99.7	99.7	99.7	99.5
滞納繰越分保険料	67.5	35.0	53.5	85.2	97.2
計	99.9	99.6	99.6	99.7	99.5
対前年度比	±0	△0.3	±0	0.1	△0.2

(3) 未収金の推移

未収金については、現年度の滞納額は対前年度比 105.0%増加の 740 千円、滞納繰越分を計算に加えた場合、65.3%増加の 752 千円となっております。

(単位：千円、%)

区 分	H29	H30	R1	R2	R3	増減率 (対前年度)
現年度分	86	380	423	361	740	105.0%
滞納繰越分	50	86	210	94	12	△87.2%
計	136	466	633	455	752	65.3%
不納欠損額	0	0	0	0	0.1	皆増

4 歳出

歳出内訳については、4.1%が総務費、後期高齢者医療広域連合納付金が95.9%を占めています。広域連合納付金には後期高齢者医療保険料が含まれます。

(単位：千円、%)

区 分	H29	H30	R1	R2	R3	R3 割合
総 務 費	7,773	8,095	9,019	9,194	9,197	4.1
広域連合納付金	179,667	187,802	192,474	211,778	216,168	95.9
そ の 他	133	73	88	69	45	0.0
計	187,573	195,970	201,581	221,041	225,410	100.0

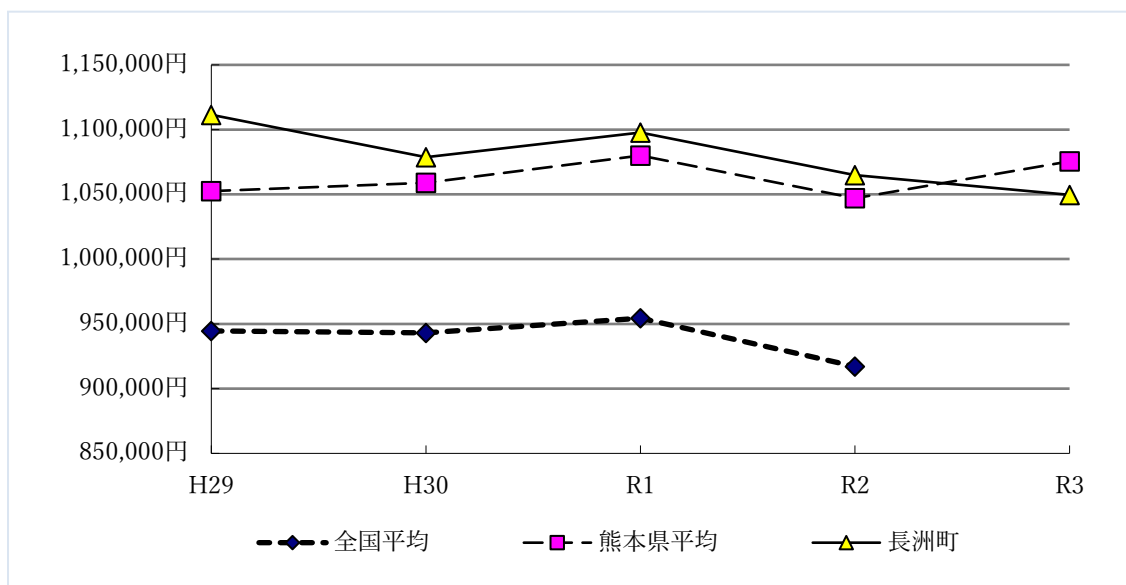
(1) 医療費の推移

医療費については、市町村から納められた納付金をもとに後期高齢者医療広域連合で支払われています。令和2年度において一人あたりの医療費については、熊本県は全国で8位と高い順位となっています。本町は、令和3年度の県平均を25,811円下回り、順位は県内で18位となっています。

一人あたりの医療費	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
長 洲 町	1,111,463 円	1,078,755 円	1,097,851 円	1,064,856 円	1,049,618 円
順位	7 位	11 位	9 位	10 位	18 位
増減率	3.4	△2.9	1.8	△3.0	△1.4
熊本県平均	1,052,509 円	1,058,918 円	1,080,003 円	1,047,037 円	1,075,429 円
増減率	0.9	0.6	2.0	△3.1	2.7
全 国 平 均	944,561 円	943,082 円	954,369 円	917,124 円	—
増減率	1.1	0.2	1.2	△3.9	—

※後期高齢者医療事業年報【厚生労働省】(令和3年度の全国平均は未確定)、

国・熊本県・長洲町 医療費それぞれの年次推移



5 医療費分析、要因等

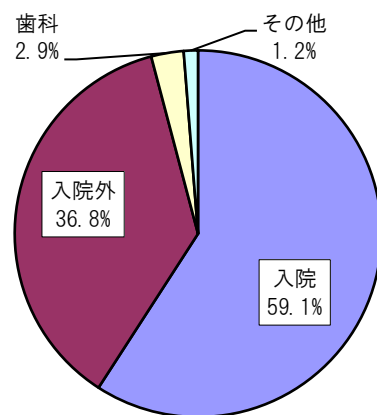
(1) 医療費の内訳

①一人あたりの医療費内訳

一人あたりの医療費の内訳を熊本県平均と比較すると、全体的に下回っております。

	熊本県	長洲町	比較	県内 ランク
入院	622,098 円	620,695 円	△1,403 円	14 位
入院外	407,119 円	385,739 円	△21,380 円	26 位
歯科	33,522 円	30,041 円	△3,481 円	23 位
その他	12,690 円	13,143 円	453 円	—
計	1,075,429 円	1,049,618 円	△25,811 円	18 位

熊本県後期高齢者医療広域連合 医療費の状況

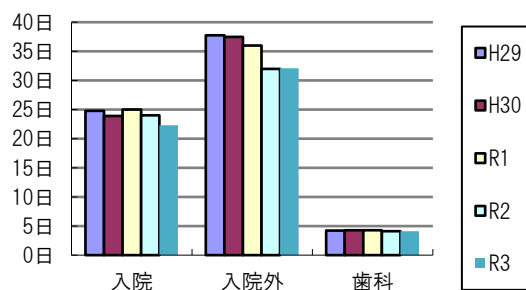


②一人あたりの日数

入院外の一人あたり日数は、県平均を大きく上回り、県内2位と高い順位となっています。

	熊本県	長洲町	比較	県内 ランク
入院	20.8 日	22.3 日	1.5 日	9 位
入院外	27.2 日	32.1 日	4.9 日	2 位
歯科	4.2 日	4.0 日	△0.2 日	13 位

熊本県後期高齢者医療広域連合 医療費の状況

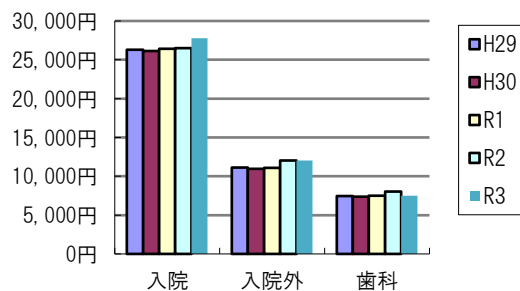


③一日あたりの医療費

一日あたりの費用は、入院・入院外・歯科については県内でも低い順位となっています。

	熊本県	長洲町	比較	県内 ランク
入院	29,875 円	27,800 円	△2,075 円	35 位
入院外	14,983 円	12,022 円	△2,961 円	45 位
歯科	8,005 円	7,488 円	△517 円	37 位

熊本県後期高齢者医療広域連合 医療費の状況

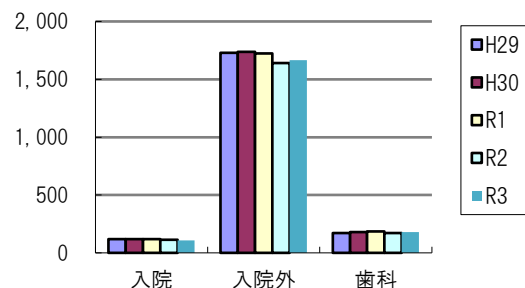


④受診率（100人あたり件数）

入院外に関しては県平均を89.0件上回っており県内3位となっています。

	熊本県	長洲町	比較	県内 ランク
入院	106.5 件	107.6 件	1.1 件	15 位
入院外	1,575.6 件	1,664.6 件	89.0 件	3 位
歯科	228.3 件	179.7 件	△48.6 件	33 位

熊本県後期高齢者医療広域連合 医療費の状況



(2) 医療費の上位を占める疾病の大分類・中分類

令和3年度の医療費において、上位を占める疾病を大分類・中分類で見ると、入院は循環器（心疾患・脳梗塞など）及び神経系の疾患が上位を占めています。外来は循環器及び筋骨格系の疾患が上位を占めています。

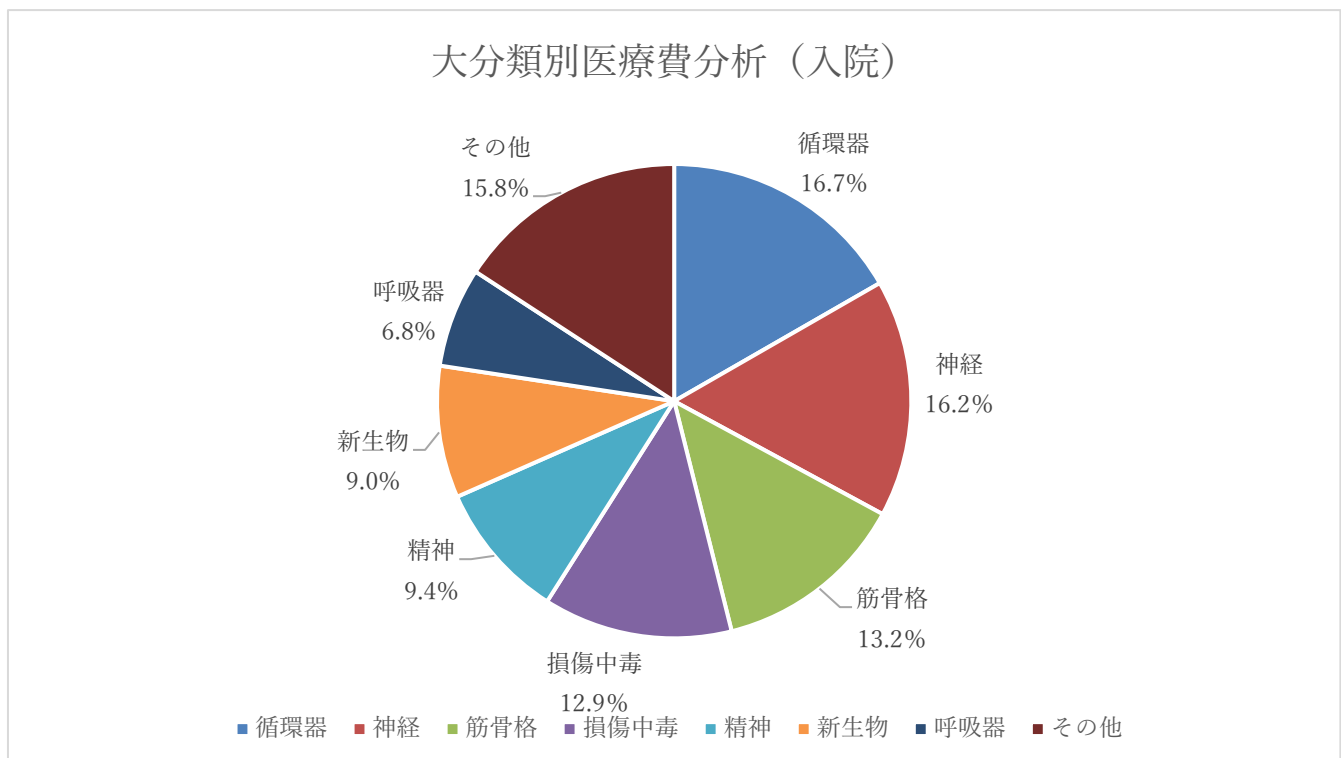
① 疾病分類（入院）

大分類	%	中分類	%
循環器系の疾患	16.7	その他の心疾患	7.8
		脳梗塞	5.0
		その他の循環器系の疾患	1.2
神経系の疾患	16.2	パーキンソン病	5.3
		アルツハイマー病	5.2
		その他の神経系の疾患	4.6
筋骨格系及び結合組織の疾患	13.2	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	5.2
		骨の密度及び構造の障害	2.3
		関節症	2.1
損傷、中毒及びその他の外因の影響	12.9	骨折	10.3
		頭蓋内損傷及び内臓の損傷	1.4
		その他損傷及びその他外因の影響	1.2

※疾病の大分類のうち上位4位までを表示

※上記の大分類のうち中分類の上位3位までを表示

※国保データベースシステム 医療費分析(2)より



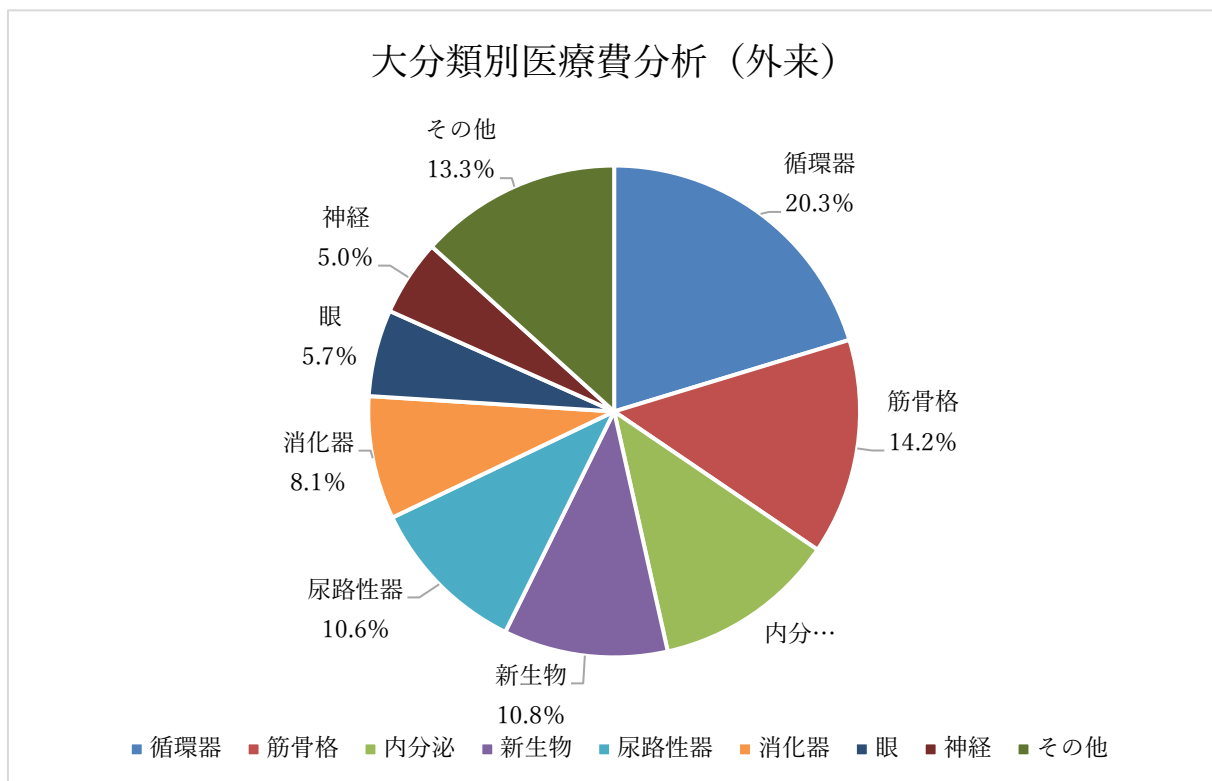
② 疾病分類（外来）

大分類	%	中分類	%
循環器系の疾患	20.3	その他の心疾患	10.7
		高血圧性疾患	6.0
		虚血性心疾患	1.7
筋骨格系及び結合組織の疾患	14.2	骨の密度及び構造の障害	4.9
		関節症	2.7
		脊椎障害（脊椎症を含む）	2.6
内分泌、栄養及び代謝疾患	12.0	糖尿病	7.0
		脂質異常症	3.2
		その他の内分泌、栄養及び代謝障害	1.4
新生物	10.8	その他の悪性新生物	4.1
		気管、気管支及び肺の悪性新生物（腫瘍）	2.7
		良性新生物（腫瘍）及びその他の新生物（腫瘍）	1.1

※疾病の大分類のうち上位4位までを表示

※上記の大分類のうち中分類の上位3位までを表示

※国保データベースシステム 医療費分析（2）より



(3) 中分類疾病ごとの受診率と一人あたりの費用

本町の主要な疾病について、各年のレセプト5月診療分をもとに疾病中分類別の県内順位の推移を見てみると、受診率の県内における順位についてはその他の内分泌栄養及び代謝が2位、虚血性心疾患3位と高い順位となっています。

一方、一人あたりの費用額では、その他の内分泌栄養及び代謝が5位と県内でも高い順位となっています。

受診率の県内順位の推移（毎年5月診療分）

年度 (県内市町村数)	H29 (45)	H30 (45)	R1 (45)	R2 (45)	R3 (45)
高血圧性疾患	37	38	36	34	38
糖尿病	25	33	32	24	38
その他の内分泌、栄養及び代謝	1	7	6	1	2
虚血性心疾患	2	1	1	6	3
その他の心疾患	11	14	22	35	17
脳梗塞	7	15	12	11	7
脳内出血	10	7	22	29	9
腎不全	14	10	31	11	34

※国保医療費の疾病分類別統計状況（熊本県国民健康保険団体連合会）より

一人あたり診療費の県内順位の推移（毎年5月診療分）

年度 (県内市町村数)	H29 (45)	H30 (45)	R1 (45)	R2 (45)	R3 (45)
高血圧性疾患	32	33	39	37	32
糖尿病	17	20	17	28	32
その他の内分泌、栄養及び代謝	5	8	3	8	5
虚血性心疾患	5	11	23	11	37
その他の心疾患	2	26	19	31	26
脳梗塞	16	40	27	35	28
脳内出血	27	5	8	26	10
腎不全	14	7	14	5	31

※国保医療費の疾病分類別統計状況（熊本県国民健康保険団体連合会）より

(4) 人工透析件数割合と診療費割合

令和3年5月で、透析件数は19件となっており、透析費用は本町の後期高齢者医療に係る全体の費用の4.3%を占めています。

診療月	透析件数	件数割合	県内順位	透析費用	費用割合	県内順位
H29年5月	22件	0.8%	24位	12,692,780円	6.9%	7位
H30年5月	21件	0.8%	33位	10,319,790円	5.2%	31位
R1年5月	20件	0.8%	36位	10,477,630円	5.5%	35位
R2年5月	22件	0.8%	36位	10,944,940円	5.9%	35位
R3年5月	19件	0.7%	39位	7,933,500円	4.3%	42位

6. まとめ

本町の後期高齢者医療被保険者数は、令和2年度と比較すると2.1%の増加、平成29年度から令和3年度の5年間で5.0%と増加傾向にあります。

後期高齢者医療保険料については、町の被保険者の約8割が保険料の均等割軽減の対象であるため、令和3年度の被保険者一人あたりの保険料は、県平均を8,840円下回っています。

また令和3年度の一人あたりの医療費について県の平均医療費と比較すると、25,811円下回って県内で18位となっています。

医療費の上位を占める疾病については、入院・外来ともに循環器に関する医療費が上位を占めております。加齢に伴い生活習慣が起因と考えられる心疾患、脳血管疾患および高血圧性疾患の発症が多くなり、また筋骨格にも疾病を発症していくことが伺えます。

このような状況を踏まえ、後期高齢者の方々に年1回の健診を受けることを勧奨し、健診の結果による保健師等の早期の介入や地域包括支援センターと高齢者の情報など連携しながら、後期高齢者の健康の増進を図り医療費の抑制に繋げていくことが重要だと考えています。